



具体化。通信

株主のみなさまへ

第109期 報告書

2017年1月1日～2017年12月31日

CONTENTS

昭和電工の今、そして目指すもの	1
トップインタビュー	2
+ 特集・中期経営計画進捗レポート 「Project 2020+」の「具体化。」	5
2017年事業部門別の概況	7
連結財務諸表	8
トピックス	9
クローズアップ・個性派事業の確立	11
会社概要	13
株式情報	14
株主インフォメーション	裏表紙

「社会価値の
創造」

＋ 昭和電工の今、そして目指すもの ＋

豊かさと持続性の調和した社会の 創造に貢献します。



昭和電工グループ経営理念

私たちは、社会的に有用かつ安全でお客様の期待に応える製品・サービスの提供により企業価値を高め、株主にご満足いただくと共に、国際社会の一員としての責任を果たし、その健全な発展に貢献します。

グループスローガン「具体化。」

夢や、願いや、思いつきにハッピーエンドを。

私たちの行動規範

1. 国際社会の一員としての自覚をもって誠実に行動します。
2. お客様に満足と安心を提供します。
3. グループ全社員が力を発揮できる企業風土をつくります。
4. 地域社会の期待に応えます。
5. 地球環境の維持改善に取り組みます。



顧客価値と 社会価値の追求へ

中期経営計画を通じて 収益力が着実に向上

中期経営計画「Project 2020+」の2年目における成果を振り返るとともに、2020年より先も見据えた今後の展開についてご説明させていただきます。

代表取締役社長 **森川 宏平**

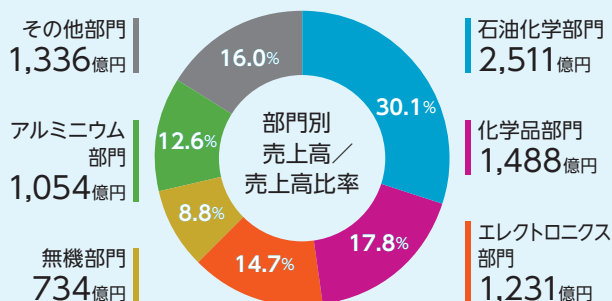
すべての部門において増収増益を達成。 連結業績は過去最高益を更新しました。

2017年の連結業績は、期初の計画を上回り、大幅な増収を達成するとともに各利益段階において過去最高益を更新しました。

売上高は、製品市況の上昇による好調に加え、前期に子会社化したサンアロマー株式会社が通年で業績に寄与した石油化学部門、黒鉛電極事業の販売数量増と中国市況の改善に、同事業の経営統合に伴う新規連結効果が加わった無機部門を中心に、すべての部門において増加し、

■ 主な経営指標の状況

(2017年連結、カッコ内は前年度比増減)



- 売上高 **7,804**億円 (16.3%増)
- 営業利益 **778**億円 (85.0%増)
- 経常利益 **640**億円 (65.3%増)
- 親会社株主に帰属する当期純利益 **335**億円 (172.0%増)
- 1株当たり当期純利益 **234.84**円 (148.57円増)
- フリー・キャッシュ・フロー **374**億円 (222億円増)
- 総資産営業利益率 (ROA) **8.0%** (3.5%増)
- 自己資本利益率 (ROE) **10.4%** (6.3%増)

より詳細なデータにつきましては、
当社IR情報サイトをご参照願います。

<http://www.sdk.co.jp/ir.html>

昭和電工 IR

検索

全体で前期比16.3%の増収となりました。

利益面においても、石油化学部門および無機部門が大幅な増益を遂げ、エレクトロニクス、化学品、アルミニウムの各部門もそれぞれ前期を上回る利益を確保したことにより、全体では営業利益が前期比85.0%増、経常利益が同65.3%増、親会社株主に帰属する当期純利益が同172.0%増と、著しい利益拡大を果たしました。

各事業部門における取り組みと業績については、P7をご参照願います。

中期経営計画を通じて収益力を大きく向上。 収益変動を抑制し、安定的拡大を目指します。

2016年より始動した中期経営計画「Project 2020+」は、この2年間の取り組みを通じて「成長加速」事業および「優位確立」事業の規模を順調に拡大し、「基盤化」事業の収益体質改善と「再構築」事業の構造改革を着実に進めてきました。その結果、当社グループの収益力は大きく向上しています。2016年から2018年までの営業利益累計額1,430億円を目指す「営業利益3ヵ年計画」は、すでに2年目で1,199億円(達成率83.8%)に達し、2018年では大幅な超過達成が見込まれています。

今後は、引き続き成長市場領域への積極展開により、収益力のさらなる向上を図ると同時に、収益変動を抑制した安定的な拡大を実現していきます。そのための施策として、

中期経営計画の進捗と成果は、P5-6をご参照願います。

収益性と安定性を高レベルで持続的に維持できる「個性派事業」の強化・育成に注力しつつ、事業ポートフォリオを改善し、キャッシュ・フローを稼いで成長エンジンで伸ばす仕組みを確立します。また海外売上高比率の拡大を目指し、「成長加速」事業、「基盤化」事業で積極的な海外進出・拠点拡充を進めていく考えです。

なお中期経営計画については、2018年中に新たな3カ年計画を策定し、発表する予定です。新計画では、「個性派事業」の拡大による「顧客価値の追求」とともに、ESG（環境・社会・ガバナンス）やSDGs（持続可能な開発目標）の視点を反映した「社会価値の追求」をテーマに打ち出す考えです。

2018年は引き続き増収増益を予想。 さらなる価値創造で社会の期待に応えます。

今回の期末配当は、利益の拡大に伴い1株当たり30円の予想（2017年4月25日発表）から20円増額し、同50円とさせていただきます。2018年の期末配当は、下記の業績

2018年 連結業績予想

（カッコ内は当期比増減）

売上高	……	9,000	億円 (15.3%増)
営業利益	……	1,100	億円 (41.4%増)
経常利益	……	1,060	億円 (65.7%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	……	650	億円 (94.2%増)

*2018年2月14日発表

予想を前提として同70円を予定しています。

2018年は、石油化学部門において4年に一度の大型定期修理を予定しており、エレクトロニクス部門ではハードディスクの販売数量減が予想されることから、両部門については減収減益となる見通しですが、無機部門における黒鉛電極事業の経営統合効果などによりカバーし、連結業績全体では増収増益を見込んでいます。

私たちは、これからも社会から期待される会社として存続していくために、さらなる価値創造に取り組んでまいります。株主のみならず皆さまにおかれましては、引き続き長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。



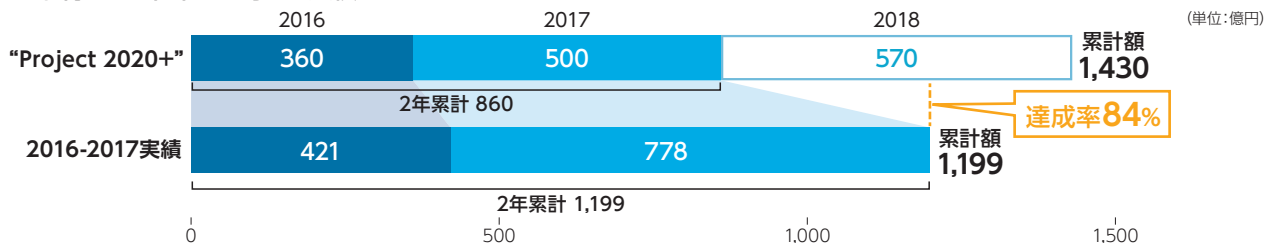
「Project 2020+」の 「具体化。」

2016年からスタートした中期経営計画「Project 2020+」では、「2025年に目指す姿」の実現に向けて、①事業モデルの変革による既存事業群の収益力向上、②M&Aや事業提携などの推進、③海外展開の加速など、成長性・収益性に加えて「安定性」を重視した変革を実行し、持続的成長に向けて「収益基盤の強化」と「個性派事業*の拡大」を推進していきます。

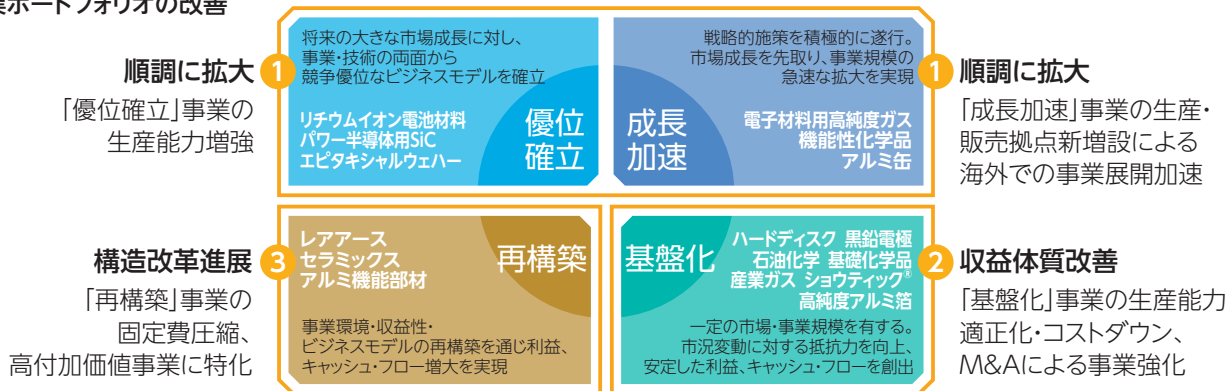
*個性派事業：収益性と安定性を高レベルで持続的に維持できる事業

2017年までの進捗と成果

■ 営業利益3ヵ年計画に対する実績



■ 事業ポートフォリオの改善



2018年の経営戦略

■ 当社グループが狙う市場領域

すべての市場領域が回復、成長著しい市場(↑)に焦点



↑ 情報電子

IoTや人工知能AI、情報量増大(ビッグデータ)の本格化に伴う半導体関連やストレージ市場の拡大



インフラケミカルズ

鉄鋼市場適正化
インフラ需要の拡大



生活環境

IoT本格化(スマートハウス)
環境負荷低減



エネルギー

電池市場拡大
SiCパワー半導体本格化
太陽光発電本格化



↑ 移動・輸送

軽量化・小型化・自動化・電装化の各種ニーズの高まり

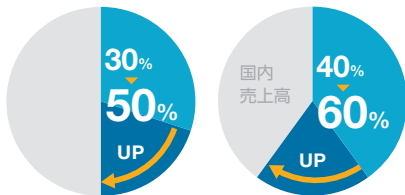
■ 当社グループが目指す姿

個性派事業拡大・収益力向上で収益変化率の小さい事業構造へ

● 2025年に目指す姿

個性派事業比率

海外売上高比率



収益変動抑制に向けた施策

① 当社にとり適正な規模での事業拡大

個性派事業の要件	営業利益率	営業利益額	収益変動
	10%以上	数十億円以上	環境変化への耐性

- 数百億円～数千億円市場でトップシェアを狙う
- 独自技術で確固たるプレゼンス確立

② 事業ポートフォリオのさらなる改善

成長加速	優位確立	再構築	基盤化
● 海外での積極的な事業拡大	● 事業領域の適正化	● 原価改善、事業基盤強化	

③ 海外売上比率の拡大

- ハードディスクに加え黒鉛電極、電子材料用高純度ガス、アルミ缶などでグローバル展開を加速

石油化学部門

売上高 **2,511億28**百万円 (前期比 35.2%増)
 営業利益 **333億57**百万円 (前期比 61.2%増)

オレフィン事業は、原料ナフサ価格の上昇や需要が堅調に推移したことを受け製品価格が上昇したことにより増収となりました。有機化学品事業は、酢酸エチル、酢酸ビニル等の販売数量増加、市況改善により増収となりました。また、前年下期にサンアロマー株式会社を連結子会社化したことにより増収となりました。

化学品部門

売上高 **1,487億58**百万円 (前期比 10.6%増)
 営業利益 **164億74**百万円 (前期比 19.2%増)

基礎化学品事業は、液化アンモニアは販売数量増加により、クロロプレンゴムは堅調な市況に加え、販売数量が高水準に推移したことにより、アクリロニトリルは市況改善により増収となりました。情報電子化学品事業は、半導体、ディスプレイ業界の増産に伴い電子材料用高純度ガスの販売数量が増加し増収となりました。機能性化学品事業は、国内自動車向け販売数量が増加し増収となりました。産業ガス事業は、小幅に減収となりました。

エレクトロニクス部門

売上高 **1,230億64**百万円 (前期比 2.2%増)
 営業利益 **219億25**百万円 (前期比 46.0%増)

ハードディスク事業は、データセンター向けに販売数量が増加し増収となりました。電子機能材事業は、レアアース磁石合金、化合物半導体はそれぞれ販売数量が増加し増収となりました。当期より、その他部門から移管したリチウムイオン電池材料事業は、中国における電気自動車向け補助金政策の変更の影響を受け販売数量が減少し減収となりました。

無機部門

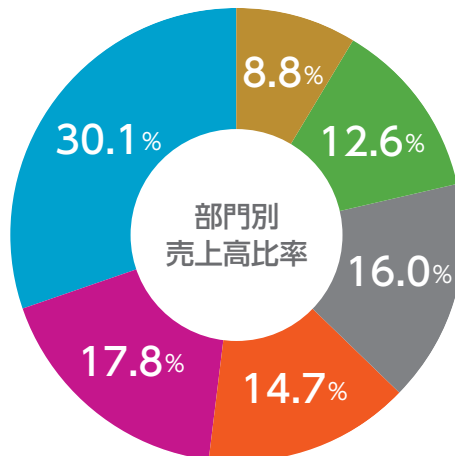
売上高 **734億42**百万円 (前期比 44.4%増)
 営業利益 **70億89**百万円 (前期比 128億48百万円増)

黒鉛電極事業は、顧客である電炉鋼業界が改善基調にあることを受け販売数量が増加しました。下期には、中国市場における価格上昇に加え、SGL GE社の株式を取得し昭和電工カーボン・ホールディング社(ドイツ)として第4四半期から連結子会社化したことにより増収となりました。セラミックス事業は、電子材料向けの販売数量が増加し増収となりました。

アルミニウム部門

売上高 **1,054億39**百万円 (前期比 7.0%増)
 営業利益 **66億97**百万円 (前期比 51.6%増)

アルミ圧延品事業は、産業機器や車載向け電解コンデンサー用高純度箔の販売数量が増加し増収となりました。アルミ機能部材事業は、大型押出品、レーザービームプリンター用アルミニウムシリンダーの販売数量増加等により増収となりました。アルミ缶事業は、ハナキャン社(ベトナム)の販売数量の増加により増収となりました。



その他部門

売上高 **1,336億24**百万円 (前期比 3.8%増)
 営業利益 **6億33**百万円 (前期比 1.6%増)

昭光通商株式会社は、増収となりました。

※なお、当期より、リチウムイオン電池材料事業を、その他部門からエレクトロニクス部門へ移管したため、両部門の売上高、営業利益の前期比は同事業が前期に移管されたことと仮定して記載しております。

連結財務諸表 • Consolidated Financial Statements •

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 2017年12月31日現在	前期 2016年12月31日現在
資産の部		
流動資産	405,341	335,077
固定資産	619,386	597,621
有形固定資産	505,900	487,135
無形固定資産	12,432	11,712
投資その他の資産	101,054	98,775
資産合計	1,024,727	932,698
負債の部		
流動負債	373,666	310,792
固定負債	286,064	310,675
負債合計	659,730	621,467
純資産の部		
株主資本	287,866	257,453
資本金	140,564	140,564
資本剰余金	61,663	62,033
利益剰余金	96,142	65,358
自己株式	△ 10,503	△ 10,502
その他の包括利益累計額	60,606	39,107
非支配株主持分	16,524	14,671
純資産合計	364,997	311,231
負債純資産合計	1,024,727	932,698

■ 連結決算対象会社

連結子会社数：62社

持分法適用会社数：11社

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 2017年1月1日から 2017年12月31日まで	前期 2016年1月1日から 2016年12月31日まで
売上高	780,387	671,159
売上原価	602,778	544,994
売上総利益	177,609	126,164
販売費及び一般管理費	99,791	84,111
営業利益	77,818	42,053
営業外収益	4,441	9,006
営業外費用	18,298	12,369
経常利益	63,962	38,690
特別利益	4,606	1,659
特別損失	21,952	22,821
税金等調整前当期純利益	46,616	17,529
法人税、住民税及び事業税	8,053	3,168
法人税等調整額	2,780	523
当期純利益	35,783	13,838
非支配株主に帰属する当期純利益	2,313	1,533
親会社株主に帰属する当期純利益	33,470	12,305
1株当たり当期純利益	234.84円	86.27円

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 2017年1月1日から 2017年12月31日まで	前期 2016年1月1日から 2016年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,284	68,949
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 29,914	△ 53,754
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,370	△ 13,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	953	△ 523
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	19,952	1,453
現金及び現金同等物の期首残高	56,186	54,597
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	696	136
現金及び現金同等物の期末残高	76,833	56,186

化学品部門

電子材料用高純度ガス 米国販売子会社設立

当社は、電子材料用高純度ガス事業強化のため、米国テキサス州オースティン市にショウワ・ケミカルズ・オブ・アメリカ社を設立いたしました。世界の半導体生産能力の約15%を占める米国市場での事業拡大、主要メーカーとのさらなる関係強化、最先端分野における情報収集を目的とし、販売・マーケティング・物流拠点としての整備を進めてまいります。

電子材料用高純度ガス



全社

ESG指数に採用

当社は、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)に配慮した投資の指数となる、FTSE Russell社の「FTSE Blossom Japan Index」およびMSCI社の「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」「MSCI日本株女性活躍指数」の構成銘柄に採用されました。世界最大の運用機関の一つである年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)は、ESG投資のための指数としてこの3指数を選定しております。

その他部門

パワー半導体用SiCエピウェハー 高品質グレード品の生産能力増強

当社は、パワー半導体の材料であるSiCエピタキシャルウェハーの高品質グレードの月間生産能力を2018年4月から現在の3,000枚から5,000枚に、同9月から7,000枚に増強することを決定いたしました。本格的な立ち上がりが見込まれる高電圧・大電流に耐えるパワーモジュール市場の要求に応えてまいります。



SiCエピタキシャルウェハー

より詳細な内容につきましては、当社Webサイトをご参照願います。

<http://www.sdk.co.jp/news.html>

昭和電工 ニュース

検索

エレクトロニクス部門

世界最大記録容量の ハードディスク販売開始

当社は、世界最大の記録容量である1枚当たり1テラバイトの2.5インチおよび1.5~1.8テラバイトの3.5インチハードディスクの販売を開始し、東芝デバイス&ストレージ株式会社のハードディスクドライブに採用されました。今後も世界最大のハードディスク外販メーカーとして、“ベスト・イン・クラス”をモットーに、事業のさらなる強化を図ります。



ハードディスク

無機部門

黒鉛電極事業会社の完全子会社化

当社は、2016年10月に発表したドイツの黒鉛電極事業会社SGL GE社の株式取得について、各国の関係当局より承認を受け、2017年10月2日付で全株式を取得し、社名を昭和電工カーボン・ホールディング社に変更いたしました。なお、米国競争当局から本買収承認の付帯条件となった当該社の米国事業については、同11月7日付で東海カーボン株式会社へ譲渡いたしました。(詳細はP11-12をご参照願います。)



黒鉛電極

黒鉛電極事業

主要市場で

2017年10月に昭和電工カーボン・ホールディング社(ドイツ)を完全子会社化した黒鉛電極事業は、4つの統合戦略を推進し生産能力・品質・コストの全ての面で世界をリードすることにより、個性派事業を目指します。

技術融合による
品質優位性と
ブランド力確立

ベストプラクティス
導入による
コスト競争力強化

4つの統合戦略

最適なグローバル・
サプライチェーン構築

管理部門の
機能統合による
固定費削減

生産
能力

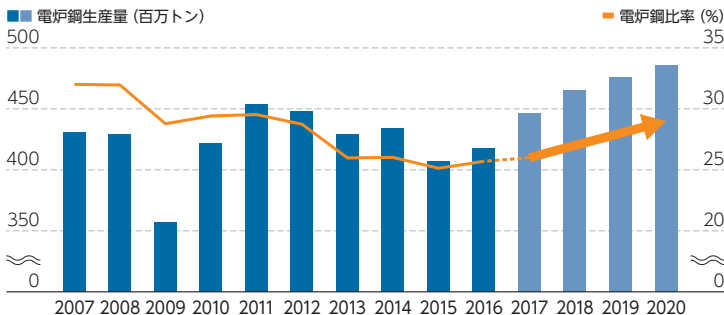
EU拠点
90千トン/年

■ 黒鉛電極を使用する電炉鋼の市場動向

米国 需要堅調による電炉鋼稼働率上昇

中国 環境規制、地条鋼撤廃による電炉鋼生産増

世界の電炉鋼生産量／粗鋼生産に占める電炉鋼比率



World Steel Association／2017年以降は当社推定

昭和電工カーボン・ホールディング



昭和電工カーボン・スペイン



昭和電工カーボン・オーストリア

バランスの取れた生産体制構築 250千トン/年

当社グループは、日本、米国、中国の製造拠点に、昭和電工カーボン・ホールディング社のドイツ、スペイン、オーストリア、マレーシアの拠点を加えることで、黒鉛電極事業におけるリーディングサプライヤーとなりました。

アジア拠点
生産能力 **85千トン/年**



日本
大町事業所



米国
昭和電工カーボン

米国拠点
生産能力 **75千トン/年**



中国
四川昭鋼炭素

黒鉛電極生産における統合後のグローバルシェア

2018年予想(中国メーカー除く)

13%
32%

SHOWA
DENKO
250千トン



オーストリア



ドイツ
昭和電工カーボン・ドイツ



マレーシア
昭和電工カーボン・マレーシア

会社概要 ● Corporate Profile ●

■ 会社概要 (2017年12月31日現在)

社 名 昭和電工株式会社
 英文社名 Showa Denko K.K.
 本 社 〒105-8518 東京都港区芝大門一丁目13番9号
 電話(03)5470-3111(総務グループ)

設 立 1939年6月
 資 本 金 1,405億64百万円
 従業員数(連結) 10,864名
 ホームページ <http://www.sdk.co.jp/>

■ 役員 (2018年3月29日現在)

取締役・監査役

代表取締役会長 市川 秀夫	※取締役 秋山 智史
代表取締役社長 社長執行役員 森川 宏平	※取締役 尾嶋 正治
取締役 常務執行役員 田中 淳	※取締役 西岡 潔
取締役 常務執行役員 高橋 秀仁	常勤監査役 武藤 三郎
取締役 執行役員 上口 啓一	常勤監査役 森木 徹
取締役 執行役員 加藤 俊晴	※監査役 手塚 裕之
	※監査役 齋藤 聖美
	※監査役 大西 節

(注) ※印の取締役および監査役は、社外役員であります。

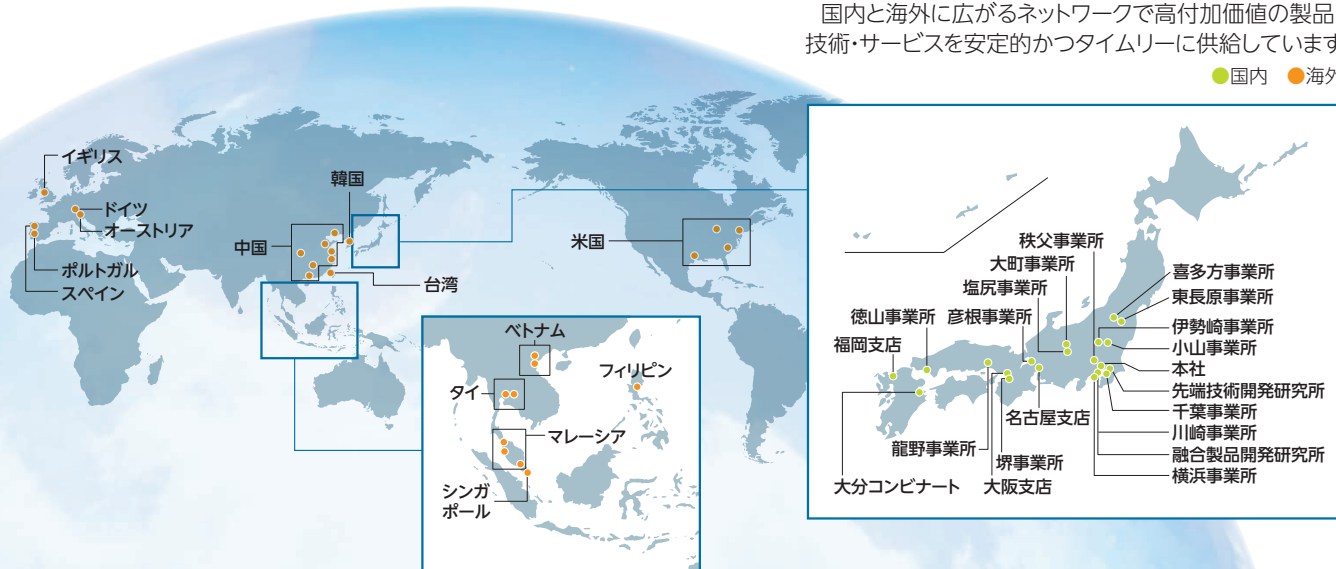
執行役員

専務執行役員 石川 二郎	執行役員 海宝 益典
執行役員 高崎 完二	執行役員 大王 宏
執行役員 竹内 陽一	執行役員 山本 卓司
執行役員 佐藤 貴幸	執行役員 渋谷 昌夫
執行役員 竹内 元浩	執行役員 神保 彰宏
執行役員 長井 太一	執行役員 和田 哲夫
執行役員 西村 浩一	執行役員 福田 浩嗣
執行役員 柳下 政道	執行役員 Klaus Unterharnscheidt

■ 当社のネットワーク

国内と海外に広がるネットワークで高付加価値の製品・技術・サービスを安定的かつタイムリーに供給しています

●国内 ●海外



株式情報 ● Stock Information ●

■ 株式の状況 (2017年12月31日現在)

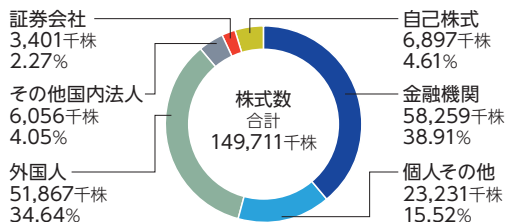
発行可能株式総数 …… 330,000,000株
 発行済株式総数 …… 149,711,292株
 株主数 …………… 60,531名

■ 上位10名の株主 (2017年12月31日現在)

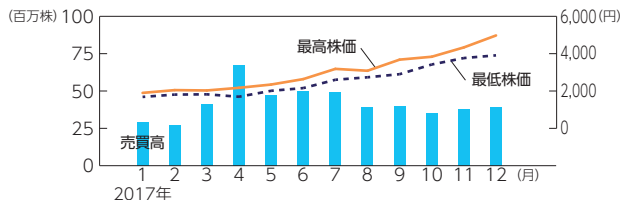
株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,166	6.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,701	5.39
富国生命保険相互会社	5,517	3.86
MORGAN STANLEY & CO. LLC	3,651	2.56
第一生命保険株式会社	3,600	2.52
MSCO CUSTOMER SECURITIES	3,321	2.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,028	2.12
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,007	2.11
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	2,956	2.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,659	1.86

(注) 持株比率は発行済株式総数から自己株式(6,897千株)を控除して算出しております。

■ 株式の所有者別状況 (2017年12月31日現在)



■ 株式データ



各種IRツールにつきましては、当社WEBサイトでご覧いただけます。
<http://www.sdk.co.jp/ir.html>

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 3月

株主確定基準日 (1) 定時株主総会・期末配当 12月31日
 (2) 中間配当 6月30日
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

公告方法 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
 公告掲載URL
<http://www.sdk.co.jp/>

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 〒168-8507
(郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話お問い合わせ先) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL. 0120-288-324

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社へお願いいたします。株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)へ預託されていなかった株主様については、株主名簿管理人である上記のみずほ信託銀行株式会社の口座(特別口座といえます。)で管理させていただいております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話お問い合わせ先へお願いいたします。未払配当金については、株主名簿管理人に加え、株式会社みずほ銀行の全国本支店でもお手続きいただけます。

ご案内

当社は、「単元未満株式の買増制度」を導入しております。1単元(100株)に満たない株式をご所有の株主様は、単元未満株式と併せて1単元になる株式を買増請求することができます。お手続きなどの詳細については、当社株主名簿管理人(みずほ信託銀行)へお問い合わせください。なお、単元未満株式の買増請求につきましても、お取扱いいたします。

株主さまアンケートご回答のお願い

当社は、株主のみなさまのご意見・ご要望を経営に活かすとともに、本誌「株主のみなさまへ」をIRコミュニケーションの場として充実すべく、株主さまへのWEBアンケートを実施いたします。みなさまの声を聞かせくださいますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

- ▶ 右記URLにアクセスいただき、アクセスナンバー入力後に表示されるサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。
- ▶ アンケート実施期間は、本誌がお手元に到着してから約1ヵ月間です。
- ▶ アンケート集計結果につきましては、次号にてご報告させていただきます。

本アンケートは、宝印刷株式会社が発行する個人投資家向け情報誌「ジャパニーズ インベスター」のWEBサイト「投資家ネット」にて実施いたします。宝印刷株式会社については<https://www.takara-print.co.jp/>をご参照ください。ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承認なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

【個人情報の取扱に関して】お答えいただくアンケートの回答内容・個人情報につきましては、「統計的にデータをまとめた上で分析し、サービスを改善すること」を目的として利用し、個人が特定できる形で利用されることはありません。その他、当社の個人情報に関する取扱に関しての詳細は当社の「プライバシーポリシー」(<http://www.sdk.co.jp/privacy.html>)のとおりです。



PC・スマートフォンから

とうしかねっと

検索

<http://104ka.net/>
【アクセスナンバー 4004】



メールから

kabu@req.jpへ空メールをご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。



携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードから直接アンケート画面へアクセスできます。



口座振込による 配当金受取のご案内

個別銘柄指定方式

銀行等の預金口座を個別銘柄ごとに指定して受領する方法です。

配当金のお受取方法について、より安心、確実にお受け取りできる下記の口座振込による方式をお奨めいたします。口座振込に関するお手続き等の詳細につきましては、お取引の証券会社もしくは当社の株主名簿管理人であるみずほ信託銀行(0120-288-324)へお問い合わせください。

登録配当金受領口座方式

取引先の証券会社に一つの銀行の預金口座を届け出ることにより、保有するすべての銘柄の配当金を、その口座でまとめて受け取ることができます。

株式数比例配分方式

取引先の一つの証券会社に届け出ることにより、証券会社の株式の口座残高(配当基準日現在の残高)に応じた配当金を、各証券会社の取引口座において受け取ることができます。

昭和電工株式会社

<http://www.sdk.co.jp/>



適切に管理された森林資源を
用紙の材料にしています。



IPA(イソプロピルアルコール)等の
有害物質を含む「湿し水」を使わ
ない水なし印刷を採用し、VOCの
発生を大幅に削減しています。



VOC(揮発性有機化
合物)の発生が少ない、ベジタブルインク
を使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユ
ニバーサルデザインフォントを
採用しています。